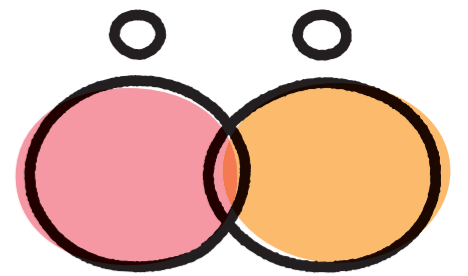


# 情報発信を学んで、被災地で実践するプロジェクト 情報発信セミナー&バスツアー 「七ヶ浜の元気、新発見」



今できること  
プロジェクト  
2014



大滝克美さん(48)  
(さいたま市)

横山恵子さん(50)  
(仙台市)

## セミナーから七ヶ浜バスツアー、そして情報発信まで。 参加者の体験記

震災から3年半以上が経ちました。いま被災地はどうなっているのでしょうか。復興に携わる人たちは、どんな思いでいるのでしょうか。「今できることプロジェクト」情報発信ツアーは、宮城県七ヶ浜町を訪れ、情報収集・発信を実践しました。参加者の体験記を通して紹介します。

### セミナー

#### 情報発信、できるかな

震災にかかわる活動には携わったことがなく、無理なくできることがあればと思っていました。セミナーでは、情報発信の意義や方法を勉強。ツイッターなどSNSの利用はちょっと怖いイメージがあったのですが、震災時に役立つという話を聞いて自分でもやってみようかと思いました。



講師の齋藤由希子さんのお話を聞き、情報発信を勉強

### セミナー2

#### 写真で伝えるために

七ヶ浜町は学生時代のヨット部の合宿拠点。復興に向けて頑張っている知人もおり、支援を続けています。セミナーでカメラマンから習った構図の取り方を早速、街に出て実践してみました。被写体をどうとらえるか。情報伝達はその瞬間から始まっているんですね。



カメラ講師相澤健治さんから指導を受け、早速実践

### 多聞山にて

#### 七ヶ浜に山手の魅力再発見

松島を一望する多聞山からの眺めは、折からの霧も晴れ、島々の浮かぶ秋の碧い海に観光船の白い航跡が鮮やかで、吉田浜から出て帆走していたヨット部時代を思い出していました。海一色で当時は気づかなかった七ヶ浜の山手の魅力を再発見することができました。



松島四大観のひとつ多聞山からの美しい眺め

### 七ヶ浜町水産振興センターにて

#### 記憶にある風景が...

震災前、この周辺で知人がお店を営んでいました。震災後初めて訪れましたが、記憶にある風景との違いに驚いています。センターの屋上からは、再建された漁師さんの作業所やたくさんの釣り人が見え、少しずつですが復興に向かっていく様子が伺えました。



被害と復興の両面を感じる屋上からの眺め

### 昼食

#### ポッケ汁に大満足!

昼食は地魚「ポッケ」の汁ものや唐揚げをいただきました。わたしは魚が苦手。特に魚卵は絶対に食べられない、と思っていました。が、初めて食べたポッケ汁はとっても美味しかった!卵がプリプリしていて、思わずお代わりしてしまいました。



地元のみなさんのおもてなしに感謝

### まとめ

#### 前向きになる話が聞けた。 多くの人に伝えたいと思った。

山に登り着いた頃、霧が晴れて美しい海が広がっていました。松島四大観・多聞山、七ヶ浜の景勝地でした。地元の近海漁業で少量だけ捕れるポッケを堪能できるのは、晩秋の約1か月間だけ。地元の皆さんがポッケ汁と唐揚げをつくってくれました。漁師さんも、ボランティアを続けているNPOの人も、復興にがんばる七ヶ浜の姿を熱く語っていました。いろんな魅力と元氣を見せてくれた七ヶ浜。参加者の皆さんは、それぞれの思いをこめて、情報発信にトライしていました。

皆さんもぜひ、いろいろな町、さまざまな場面から情報発信をしてみてください。

### フェイスブックに投稿

#### 今もこれからも、いいね!

七ヶ浜の今を見て感じたことを思いのままに伝える。当地でがんばる人たちとつながり、おいしいものにはおいしい!と言い、そのがんばりには「ちゃんと見ていますよ」といいね!する。大事なことはシェアして、七ヶ浜のいいね!をこれからも世の中に広めたい。



今日たくさん発見した、七ヶ浜の人・まち・食などをフェイスブックとブログにさっそくアップ  
www.facebook.com/katsumi.ootaki

### ツイッターに投稿

#### 初めてつぶやいた!

普段はニュースやほかの人のつぶやきを読むだけだったけど、初めて自分でつぶやいてみました。「これがぼっけじゃ」、「七ヶ浜国際村、素敵なロケーション」、「バスの中からの七ヶ浜。復興はまだまだ」。写真も一緒に投稿。これなら、できる範囲で続けていけるかな。



震災時は避難所となつた七ヶ浜国際村

### 漁師・鈴木さんの話

#### 復興へのコミュニケーション

旬の海の幸を産地直送し、七ヶ浜の復興に取り組む菖蒲田浜漁港の漁師・鈴木直也さん。「ぼっけ汁、うまいね!」「オスはモチモチしていて刺身が最高なんですよ」。鈴木さんの熱い想いと笑顔に、顔の見えるやりとりこそが彼の元氣、復興につながると思いました。



七ヶ浜の復興を熱く語る鈴木直也さん。NPOの方とも話す

## なお残る震災のつめ跡 規模の大きさ、深さを実感

3年半経っても震災のつめ跡が残っており、その重さを痛感しました。また、初めて被災者の話を聞くことができました。新聞などで知っていたはずですが、現実に見たり聞いたりすると規模の大きさ、物事の深さを実感します。それでも被害を経験した方には追いつきません。ボランティアの若者と現地の方が頑張っている姿が印象的でした。



住友生命  
宮本健さん(48)

## 漁師さん、ボランティアの 皆さんの行動力に敬服

七ヶ浜には初めて行きました。七ヶ浜ぼっけ倶楽部を立ち上げて漁師の目で町の復興に取り組む鈴木直也さん、そしてそれを支援するボランティアNPOの皆さん、ボランティアコーディネーターさん、皆さんのエネルギー、行動力に敬服しました。今回、情報発信の仕方を教えていただきました。震災関連情報にはこれからも関心を持ち続け、私なりに発信していきたいと思っています。



仙台市青葉区  
丹内健一さん(70)

## 同世代の人と 力を合わせ宮城から発信

語り部さんの話を聞いて当時の様子を思い出すことに、以前より負担が少なくなることができました。これが「慣れ」なのか「成長」なのかわかりませんが、これからもこうした活動を続けていきたいと感じました。同世代の人と力を合わせて東北・宮城から発信したり、震災のトラウマで自分の視野をふさいでしまっている若い世代の人の手助けなども行ってみたいです。



仙台市若林区  
佐藤美優さん(19)

## 震災後、初めての海 復興に動く人々に感銘

わたしは震災で津波を実際に見たため、その後ずっと海を見ることができませんでした。しかし、ツアーで清掃活動をして、あらためて海の素晴らしさを知りました。震災の形跡が残る中、一生懸命復興へと動くみなさんを見てとても格好良く見えました!ぼっけ汁も美味しかったです。今度は友達を連れて来たいと思います。



仙台育英学園高校 2年  
渡部奎さん(16)

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

[www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html](http://www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html)

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

●私たちが、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI / アヴィエスホーム / アサヒビール 東北統括本部 / 岩手日日新聞社 / エイチ・アイ・エス / NTTデータ東北 / キヤノンマーケティングジャパン / 餃子の王将 / キリンビールマーケティング 宮城支社 / ケーズデンキ / 劇団四季 / コンパスホーム / サッポロビール 東北本部 / サントリービバ&スピリッツ 東北支社 / JA全農みやぎ / JTB東北 / 尚絅学院大学 / 住友生命 仙台総支社 / 青南商事 / 生命保険協会 宮城県協会 / セキスイハイム東北 / 石油連盟 / 仙台育英学園 / 第一生命 仙台総合支社 / 大東住宅 / タゼン / テラ / 伝承千年の宿 佐勘 / 東北ミサワホーム / 東北三菱自動車販売 / 日本製紙 / 日本製紙クレシア / 日本生命 仙台支社 / 野村不動産 仙台支店 / はとバス / 日立システムズ / ビルワーク / 藤崎 / 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ / 北洲ハウジング / 松田会 / 三井不動産 / 三菱地所グループ / 宮城県建設業協会 / 宮城県自動車整備振興会 / みやぎ生活協同組合 / 明治安田生命 仙台支社 / 森永乳業 / リコージャパン 東北事業本部 / 平松剛法律事務所 / 河北新報社 (順不同)

◎後援 / 宮城県、仙台市、名取市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会 ◎協力 / 東北グリーン復興事業者パートナーシップ